

## 1. 園の教育目標

「キリストの愛と真実に基づいた、みんなが楽しく安心してつながり合う、異年齢保育」を目指している。  
以下の3つを特色としている。  
(1)キリスト教保育による人格の形成を図る  
(2)遊べる子どもを育成する  
(3)絵本大好き子どもを育成する

## 2. 継続して取り組むことが必要な評価項目

- (1)園の教育活動について  
(2)子育て支援活動、預かり保育について  
(3)特別支援教育活動について  
(4)情報発信や広報活動について  
(5)園の環境整備、安全管理について  
(6)幼稚園と教会「日曜学校」との連携について

## 3. 評価の具体的な目標や取り組み方

項目	内容
園の教育活動について	本年は保育者と共に、本の読み聞かせ、本の貸し出し、園児礼拝でお話を聞き理解すること、聞く態度等の教育活動を進める。副園長を中心に、指導計画や記録の作成、保育の実践指導、研修等を行う。特に年3回の教職員全体会で、園の教育課題を全員が理解協力して適切に保育援助を行う。教師と園児との信頼関係を十分に築き、一人一人の特性を活かすため家庭との連絡を密にする。
子育て支援活動	子育ての環境が著しく変化する中で、地域における幼児期の教育センターとして、施設や機能を開放し、積極的に子育てを支援することが求められている。月に1度、「自由登園日」を設けて、地域に開放する。園の子どもたちだけでなく、地域に存在するすべての子どもたちの発達を援助し、家庭や地域社会との連携を深める。
預かり保育	保育前後に行う教育活動として、預かり保育は親の要望により、保育前の預かり7時30分からと保育後18時までを実施する。春、夏、冬休みも実施し、仕事を持つ家庭の事情を考慮しながらすすめる。
特別支援教育活動について	特別支援を必要とする園児に、子育て支援課と保健室と連絡を取り合い支援を行っていく。特に保護者の理解を得ながら気になる子どもの実態把握と指導方法の確立を図る。
情報発信や広報活動について	様々な形で情報公開が行われるようになり、幼稚園に求められる社会的なニーズに対応できるように、インターネットなどによる情報の発信を行いホームページの更新・充実を図る。 広報活動において、当園の「個人情報保護管理規定」に基づいて、個人情報の保護について理解を深めると共に、重要性を徹底させ、漏洩・紛失などの危険防止に努める。
園の環境整備について	園の施設、設備、園庭遊具等の安全を定期的に確認する。 「遊具安全点検チェック表」を用いて、少しでも危険が予測される場合には、速やかに改善するための方策を話し合い、園児の安全を第一に考えて、取替えや撤去などの作業を実施する。
安全管理について	地震や津波を想定した防災教育や訓練を実施する。特に津波を想定して、カルチャーセンターまで歩く訓練をする。防災訓練は教師が体で覚えて行く訓練を行う。災害発生時の緊急マニュアルを整備する。消防署の幼年消防クラブに入り園児にも防災意識を高める。
幼稚園と教会「日曜学校」との連携に	在園児や卒園児等が「日曜学校」の礼拝やクリスマス、イースター時に保護者の協力を得て、キリスト教の理解と両者の連携を深める。

#### 4. 継続項目の評価

園の教育活動について	園の教育目標に沿って、保育者は努力の成果として、園児は真剣に受け止めている。保育者は、保護者とのトラブルもなく良い関係ですすんでいる。今年もキリスト教保育連盟や北私幼西胆振の研修会に参加して、保育の研鑽を深めている。特に子ども・子育て支援新制度に向けて、以降の手続きを進めている。
子育て支援活動	月1回、「自由登園日」を設け、継続して実施する。幼児のために、1日体験・見学日をピョンピョンルームとして、施設や機能を開放し、積極的に子育てを支援することができた。保護者が子育ての喜びや悩みを共有する場として、支援活動を拡大し、充実していきたい。
預かり保育	預かり時間を増やし保護者のニーズに迅速に対応するよう努めた。特に7時30分からの預かり、春休みも預かりを実施することができ好評であった。仕事を持つ家庭の事情で、利用が変動するが子どもが自主的に活動できる工夫をし、安心して過ごせるように配慮したい。
特別支援教育活動について	特別支援を要する園児への特別支援教育対策費補助金の申請を行い、本年も、保護者や療育機関などと連携を深めて、気になる子どもの実態把握と指導方法の確立を図るよう努めた。市の教育機関等の協力を得て、保護者へ情報提供を行い、理解を得て、早期に支援を要する子どもの支援活動にあたった。
情報発信や広報活動について	ホームページの公開により、園の特色、教育方針、保育活動、行事等の最新の情報を発信することができた。情報機器を活用する保護者のニーズに対応できるよう災害時の連絡方法等を整備した。連絡網等の個人情報保護の重要性の理解を得て、充実して行きたい。
園の環境整備について	施設、設備、園庭遊具等の安全を、「遊具安全点検チェック表」を用いて3ヶ月に一度点検し、いつでも改善できる体制を継続した。土管や古タイヤを埋めて土山をつくり、夏はだんご作り冬はそり滑り用にした。怪我をなくするため安全基準の細目整備と改修を行った。
安全管理について	春秋の防火避難訓練に加えて、日本各地で地震による災害が起きているので消防署の予防課の協力を得て訓練を行い。危機管理マニュアルを見直して、地震・津波防災計画書を作成した。消防署の幼年消防クラブに入り園児の防災意識を高めた。
幼稚園と教会「日曜学校」との連携について	保護者の理解と協力を得て、夏休みに日曜学校バス遠足を実施した。多数の参加者があり好評であった。日曜学校礼拝や行事への参加が保護者と共に行うことができた。イースター、ペンテコステ、クリスマスなどの行事を通して、連携と交流が深まりつつある。

#### 5. 継続項目の達成度評価

園の教育活動について	A
子育て支援活動	B
預かり保育	A
特別支援教育活動について	B
情報発信や広報活動について	B
園の環境整備について	A
安全管理について	A
幼稚園と教会「日曜学校」との連携について	B

達成度 A 80%以上  
 達成度 B 70%未満  
 達成度 C 50%未満

